

横幹連合・日本品質管理学会計画研究会  
共催ワークショップ  
「デジタル・エンジニアリング時代の品質管理の課題」  
へのお誘い

横断型基幹科学技術研究団体連合「シミュレーションとSQC」調査研究委員会並びに、社団法人日本品質管理学会 拡大計画研究会「シミュレーションとSQC」では、実機実験を最小限とし、数値シミュレーションを基に新製品の品質保証を達成することが要請されている今日、産業界や研究者がどのような点に困難を感じているか、それをどのように解決したらよいかを共同で議論するキックオフワークショップを企画しました。CAEによる品質管理に問題を感じている技術者、数値計算、最適化技術、品質管理、品質工学、統計的実験計画法の専門家で、こういう点が問題という主張を持たれている方の参加を期待します。

本ワークショップに出席希望される方は、5月12日（水）までに、  
筑波大学経営システム科学専攻の椿 広計 教授  
([tsubaki@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp](mailto:tsubaki@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp)) まで  
メールでご連絡ください。

会場がそれほど大きくないので、人数によってはお断りする可能性もあることを  
ご容赦ください。

なお、本会合は、(社)日本品質管理学会研究開発委員会予算並びに科学研究費基盤研究(A)「技術開発促進のための新たな統計科学体系とそれに基づく情報システム開発」(代表者：椿 広計)の支援を受けて開催されます。

【本件に関するお問い合わせ先】

横幹連合「シミュレーションとSQC」調査研究委員会

幹事 椿 広計教授 e-mail: [tsubaki@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp](mailto:tsubaki@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp)

または

横幹連合事務局 e-mail: [office@trafst.jp](mailto:office@trafst.jp) tel: 03-3814-4130

# 「デジタル・エンジニアリング時代の品質管理の課題」

会合略称：デジタル・エンジニアリング時代の品質管理の課題

正式名称：横断型基幹科学技術研究団体連合「シミュレーションとSQC」調査研究委員会、  
社団法人日本品質管理学会 拡大計画研究会「シミュレーションとSQC」、  
科学研究費基盤研究(A)「技術開発促進のための新たな統計科学体系とそれに基づく情報  
システム開発」  
共同主催による研究課題マップ作成のためのキックオフワークショップ

開催日時：2004年5月15日(土) 10:00~17:30

会場：名古屋工業大学 2号館 I2 教室  
(名古屋市昭和区御器所町 交通：JR中央線「鶴舞(つるまい)」駅下車、徒歩7分)

参加資格：原則として横幹連合加入学会の会員 参加費：無料

## 【ワークショッププログラム】

講演タイトルは依頼内容に基づくもので、最終的には若干の異同が生じると思います。

開会挨拶： 仁科 健(名古屋工業大学大学院おもひ領域教授)

10:00~ 流体シミュレーションの現状と展望 - 最適設計を目指して  
大林 茂(東北大学流体科学研究所 教授)  
(発表45分, 討論15分 以下同様)

11:00~ 数値シミュレーションに基づく統計的実験計画法の研究現状と問題点  
山田 秀(筑波大学大学院ビジネス科学研究科助教授)

12:00 休憩

13:00~ 基調講演「デジタル・エンジニアリングとSQC」  
高橋 朗((株)デンソー 会長、日本品質管理学会 顧問)

13:30~ CAEにおけるSQC活用上の問題点：  
(社)日本品質管理学会  
シミュレーションとSQC研究会第1分科会報告  
吉野 睦((株)デンソー 技術センター室長)

14:30~ デジタル・エンジニアリングにおける品質保証  
(社)日本品質管理学会  
シミュレーションとSQC研究会第3分科会報告  
金子龍三((株)NEC 通信システム執行役員)

15:30~ 数値シミュレーションから見た信頼性評価の現状と問題点  
多田浩之((株)富士総合研究所 ビジネスイノベーション事業部)

[横断型基幹科学技術研究団体連合 調査研究委員会]

16:30~ 第1回「シミュレーションとSQC」調査研究委員会  
今後研究の進め方に対するワークショップ参加者全員による総合ディスカッション

閉会の挨拶： 椿 広計(筑波大学大学院ビジネス科学研究科・教授)